

ー上空から命をつなぐ救助のあらたなカタチー

「水難救助対応型ドローン」の運用を開始します！

災害の多用化・複雑化に対し、消防・救助活動の迅速性及び確実性、安全性を向上させるため、最新鋭のドローンによる運用を開始します。

- 運用開始 令和7年12月10日（水）～
- 機 体 MATRICE350 Rescue 1機
（マトリス 350 レスキュー）
- 配備場所 消防救急課（中消防署） 指揮隊

ポイント①②の両機能を有しているドローンの導入は
東海3県初！！

ポイント① 水難事故現場での安全確保！

海や川などで助けを求めている人に対して上空から**浮き輪を投下**することで、命の安全確保につながります。



膨張式救命器具（浮き輪）

ポイント② 音声による呼びかけ！

機体に搭載されたスピーカーにより上空から**声かけ**を無線で行い、安全な行動を促します。



高性能カメラ及び赤外線カメラ

ポイント③ 2種類のカメラを搭載！

◆高性能カメラにより、災害現場の状況が広範囲かつ詳細に把握できます。

◆赤外線カメラにより、人の体温や火災の熱源を感知するほか、夜間においても災害状況を可視化することができます。



**浮環投下
呼びかけ
状況評価**



—上空から命をつなぐ救助のあらたなカタチ—

令和7年12月10日運用開始

豊橋市消防本部



**検 索
熱感知
映像伝達**

